

# 日本のリーダー育てたい

九州工大情報工学研究院長に今月、就任した。コンピューターや機械を思い通りに動かす「制御工学」の研究、開発に情

こんにちは

新任です

熱を注いできた。九工大に勤務して丸21年。学生と接して思うことがある。「『近ごろの若者は…』とよく言われるが、情熱ある学生も多い」

九州工大情報  
工学研究院長

延山 英沢さん (52)



情報工学部は、1986年の設置から四半世紀がたった。当初は、コンピューターの心臓部だけに使われていたCPU（中央演算装置）が、今やテレビなどの家電製品をはじめ、自動車にも数

十個から百個以上搭載されている。時の流れとともに、新学科の必要性も感じる。「まだ具体的に形として見えないが、時代に即した、ここにはかない学科をつくりたい」

糧問題など地球規模の課題を解決するために不可欠な技術だと確信する。「九州には、素直で一生懸命な若者が多い。いわば原石の集まり。彼らを育て、日本のリーダーにするのが私たちの務め」と強調する。

情報工学を基盤とした情報技術（IT）は、今後モエナールギーや食が続きそうだ。

福岡市早良区に家族3人で暮らす。睡眠を確保していた通勤バスは現在、パソコンでのメールチェックの場となった。しばらくは、多忙な日々